

●自然体験⑭



スノークラフト

概要

雪を使って、雪像づくりやかまくらづくり、スノーキャンドルづくりを楽しむことができます

人数

・何名でも

対象

・未就学児～

実施期間

・12月末～3月末

※雪不足による変動有

所要時間

・2時間程度

(準備、片付けを含む)



活動場所

・風のはらっぱ周辺、テントサイト、くわの実広場、野外ステージ

※(別添) 山の家周辺地図 スノークラフト実施可能エリア参照

指導のねらい

- ・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かすことができる
- ・活動を通して、冬の自然を体感することができる

活動のながれおよび留意点

【事前学習】

- ①どのような活動にしたいか「目的」を共有する
- ②グループ編成を決める
- ③作成テーマを考える
- ④使用する用具を確認する

【当日】

- ①服装、持ち物の確認や健康チェックを行う
- ②物品の貸出(山の家職員立ち合い)
※スノークラフト物品割当表をもとに割当の個数内で使用する
- ③スノークラフト実施
- ④物品の返却(山の家職員立ち合い)
※午後4時までに必ず返却する
- ⑤スノークラフトの解体
※使用したフィールドは退館時までには、復元する
(時間が経つと、雪が固まり崩れづらくなるため、できるだけ当日に作業する)

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

- ・鉄製スコップ、プラスチックスコップ、バケツ
ポリタンク、スノークラフト用ボックス、ソリ

【団体で準備するもの】

- ・防水、防風性の強いウェア（重ね着をして、暑い場合は脱げるようにする）、帽子、耳当て、手袋、汗拭きタオル、換えの手袋

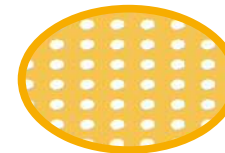
備考

令和 3 年 6 月 20 日更新

【スノークラフト（例）】



山の家周辺地図



スノークラフト
実施可能エリア



※活動にあたっての注意事項

- ・屋根下は落雪の恐れがあるため近づかないようにしましょう。
- ・「自由散策コース」はフリースペースとなっております。活動の際は、他団体様と譲り合ってください。
- ・車両の往来や立木への衝突、とげのある植物などケガ・事故には十分ご注意ください。
- ・活動エリア内の異常などありましたら、山の家までお知らせください。